

ホームページへの掲載	
2月28日	掲載予定

## 岐阜県立岐阜高等学校

学校長 南谷 清司  
 学校住所 岐阜市大縄場3丁目1番地 電話 058-251-1234

- 1 会議の名称 岐阜高等学校学校評議員会（第2回）
- 2 会議の構成
 

	委員	石田 秀治	岐阜大学応用生物科学部教授
		江口 裕國	丹羽歯科医院 医院長（本校校医）
		杉山 文康	杉山建設株式会社 代表取締役社長
		杉山 万里子	地域住民代表
		西山 光知子	元PTA副会長 薬剤師
（委員名は五十音順）			
	学校側	南谷 清司	校長
		山本 淳一	事務部長
		伊藤 崇	教頭
		西谷 徹	教頭
		高木 雅紀	教務主任
		久保田信孝	生徒指導主事
		市川 浩通	進路指導主事
- 3 会議の目的 「将来の日本や世界の様々な分野でリーダーとして活躍する人材の育成」等の観点から、岐阜高校の教育活動の在り方について、地域住民や保護者及び有識者などから幅広く意見を聞き、地域社会からの支援・協力を得て、開かれた特色ある学校づくりを推進する。
- 4 会議の開催 平成30年2月16日（金） 13:30～15:30 岐阜高等学校 大会議室  
委員5人と 学校側7人（1名欠席）が出席
- 5 会議の概要
  - (1) 授業見学
 

1年9組	音楽 I	選択者による合唱
1年2組	数学 I	AL型グループ学習
3年希望者	日本史	課題講座
3年希望者	物理	課題講座
  - (2) 学校長挨拶
 

学校評議員制度は「開かれた学校」を目指して位置づけられた制度であり、学校外部の方々の意見を学校運営の改善に活かしていきたいと考えています。忌憚のないご意見を頂戴できればと思います。学校では、来年度からの単位制改編に向けての体制を構築しているところです。具体的には、生徒の個別のより高度な学習ニーズや進路希望に応えるために、例えば英語書籍の多読を目的とした選択科目を用意するなどの準備をしています。また、すべての県内公立高校が全県1区になりますが、これによって岐阜高校を受験する生徒が大きく変わることは予想していません。一方、部活動では、軟式野球部の東海大会ベスト4や自然科学部生物班が全国大会を勝ち抜き、5月にアメリカで行われる世界大会に参加します。3年生の受験状況では、岐阜大学医学部や東京大学の推薦入試に合格するなど出だしは好調です。
  - (3) 取組の成果と課題
 

ア 「生徒及び保護者対象アンケート集計結果」について（教務主任より）

    - ・学校経営計画（マニフェスト）の実施に向けて様々な取り組みを行っている。本校の取組みについて実施した生徒及び保護者対象アンケート結果について特徴的な項目について取り上げ、その結果の分析と対応策について報告する。

イ 教務部（教務主任より）

- ・授業改善のために年2回の授業公開月間を設け、教員間の授業参観や相互評価、教科会の充実、生徒による評価などにより授業の工夫改善に努めた。
- ・発展的な内容を扱う「課題講座」に加え、授業を補完する目的で基礎的な内容を扱う「岐高基礎講座」を新設した。
- ・来年度からの単位制改編に伴う校内既定の見直しや、新しい大学入試制度や英語4技能試験に向けた対応策について検討を重ねている。

ウ 進路指導部（進路指導主事より）

- ・生徒の進路達成に向けて、学力の充実と自主的なキャリア設計ができることを目指している。
- ・学習支援では、医学部希望者に対して入試ガイダンスなどを始めた。
- ・外部模試の結果を分析し、生徒や保護者、教員に情報提供している。  
このような活動の成果として、1、2年生は全国模試では公立高校で1、2位となった。
- ・学習面だけでなく、キャリア形成の面から「職業・学問体験プログラム」や「教養を深める読書会」等を通して、生徒が主体的にキャリア設計を意識・行動できるように他の分掌と連携していく。

エ 生徒指導部（生徒指導主事より）

- ・交通安全、基本的な生活習慣の確立、適切な生徒支援、公民権の適切に行使する態度の育成の4点について取り組んだ。
- ・交通安全の面では重大事故はなかったが、軽微な交通事故は例年並みに発生している。  
身だしなみ指導は学年団と協力して組織的に実施できた。
- ・教育相談については、学年、担任、保健室などと連携して個別に対応している。
- ・選挙権を有する生徒を中心に啓発活動を実施した。
- ・多様化する生徒に対応するために、研修会などを通して発達障害についての理解、スマートフォン使用に関するリスクなどを学んだ。
- ・いじめ重大事態に相当する案件が1件発生した。これについては当初から慎重かつ迅速に対応しており、今後も丁寧に対応していく。
- ・今後は、あらゆる面で「予防安全」の意識をさらに高め、職員間をはじめ家庭等との情報交換を密にし、一部の教員が抱え込まないように全体で対応していく。

オ キャリア形成支援部（教頭より）

- ・昨年度までの学校活性化委員会を引き継ぎ、今年度からキャリア形成支援部を立ち上げ、「生徒の心に火をつける」を合い言葉に、将来、社会に貢献できるトータル・パーソンの育成に向けたグローバルリーダー養成事業を実施している。
- ・今後は、定着してきたグローバルリーダー養成事業をさらに充実させ、生徒が興味関心を広げ、将来の進路選択に役立つ企画を実施するとともに、生徒が参加・活動しやすい形態にしていく。

カ グレードアップ推進部（教頭より）

- ・単位制改編に向けた教育課程等の整備を行う分掌としてグレードアップ推進部を立ち上げた。
- ・単位制に改編した岐阜高校は、「自由な選択」という一般的な単位制高校ではなく、「生徒の個別のより高度な学習ニーズに対応する」ことを目的としている。
- ・具体的には、1時間の授業は60分。1日の授業時数は5時間または6時間で、従来の65分5時間授業に比べ、3年間で80時間以上増加する。
- ・単位制高校として、学校独自の教科・科目を3年間で32科目用意し、生徒の興味関心や進路希望に応じて選択できる。

意見1 トータル・パーソンの育成に向けた取り組みは素晴らしい。ただ、アンケートによるとその活動が生徒に十分に伝わっていないように思える。岐阜高校は勉強だけではないことを生徒や保護者、地域にもっと伝えた方がよい。

意見2 50年前に卒業した頃に比べると、とても丁寧で親切な教育課程のように思う。今の生徒がこのような教育を受け、将来、社会で活躍されることが理解できる。とても良いことだと思う。

意見3 授業だけでは伝えられない大切なことを、いろいろな手法で刺激して感心している。しかし最初から動機づけができていない生徒ばかりではないと思う。その点で「岐高基礎講座」を設けて対応することは良いと思う。どれくらいの生徒が「岐高基礎講座」を受講しているのか知りたい。

→ 希望を取ると1年生3教科で各100名ほどいたが、基礎的な内容を取り扱うため必要でない生徒も希望していた。最終的に40～50名ほどになっている。

→ これまでも授業を十分理解できない生徒を集めて補充は行っている。「岐高基礎講座」はこのような指名補充ではなく、レベルを設定し必要な生徒が受講する形をとっている。

→ 外部模試で偏差値50以下を無くすことを目標にしているが達成できている。

→ 岐阜高校に入ったら、職員は相応の学力をつけさせたいと思っている。その一つの方法である。

意見4 先生方の情熱を感じた。生徒がそれに応じれば必ず伸びると思う。さすが県下一の高校である。一方、働き方改革の中で先生方の健康面が心配である。また、教室内の環境もサーキュレーターが新設され配慮がなされていた。ただ、廊下のロッカーに非常品のラベルが貼ってあるところとそうでないところがあったが全教室にあるのか。教室の通路に大きなリュックが置かれていて、ロッカーに入りきらないのか。

→ 非常品は生徒個人のもので1日分の水や食料が全クラスに常備されている。今後、順次3日分に増やしていく予定。

→ 働き方改革については悩ましいところである。職員に早く帰るように指示しても、授業準備や生徒対応などがあり校長としても困っている。メンタル的には大丈夫とのことだが、体力的な問題では面談などで話を聞いている。

→ 単位制に改編することによって教員数は増える。1学級40人を維持するが、個人の進路に合わせた選択授業や分割授業を増やしていく。

→ 早期退勤日だけでなく早く帰るように指導するが、早く帰る日は仕事を持ち帰って家で仕事をする職員が多い。職員は常に生徒のことを考えて対応しているため、精神的に追い込まれて苦慮している様子はあまり見受けられない。

→ サーキュレーターは、夏場の室温管理のために設置しようとしたが遅れた。しかし冬場の暖房使用時にも効果がある。

→ 教室の狭さは確かに感じる。特に前後に狭い。生徒数が多い教室では通路に荷物が置かれて通りにくい。

- 意見5 数学の授業参観ではアクティブラーニング型の授業が行われ活気があり驚いた。音楽室は素晴らしい施設で選択者以外も利用できると良いと思った。単位制は選択肢が広がってよいが、目標が定まっていない生徒への配慮も必要と思っている。その点で「岐高基礎講座」はぜひ続けてほしい。授業参観についてはもっと具体的に保護者等に連絡するなどして広報すれば参観者も増えるのではないか。また、単位制になって授業が増えるようだが、文武両道の岐阜高校として部活動の活性化にも配慮を期待する。
- 意見6 岐阜高校の先生方の使命感は高いと思う。能力的についていけない生徒や先生方について、精神的な配慮、サポートは管理職の仕事でもある。
- 意見7 岐阜高校のような学校は男女参画の意識が高い。社会や家庭での理解が高いせいだと思うが、そのような生徒がどんどん社会に出ていって社会を変えていってほしい。  
→ 岐阜高校の女子は意識が高い。これをいつまで保っていくことができるかがポイント。
- 意見8 健康、体力も大切だ。体育の授業も重要視してほしい。
- 意見9 文化芸術に触れる機会を大切にしてほしい。体力がないといろいろなことに挑戦できない。勉強だけでなく、高校時代にしか得られないことを経験させたい。何もかもという欲張りになってしまうがどれも期待したい。
- 意見10 文化的な行事を大切にしてほしい。特に文化祭を見に行ったが、とても工夫されて良かった。これからも活発に行ってほしい。
- 意見11 高校でいろいろなことを経験すると社会で頑張れる。岐阜高校は欲張った方が良いと思う。  
→ 文化芸術体験については芸術鑑賞会を年1回行っている。部活動は現在もかなり盛んである。文化祭は8月の終わりに実施しているが、この頃はかなり暑く大変である。また、受験の日程が早まり、また3年生で英語の外部テストが実施される可能性がある。しかし、岐阜高校は現在の日程で継続したい。

## 6 会議のまとめと校長謝辞

本日は具体的なご指摘をいただきありがとうございました。働き方改革の中で、教師の意欲だけに頼っているわけにはいかない。教育目標については、校長として生徒に伝える方法を検討し、学校運営にも反映させていきます。ありがとうございました。

## 7 諸連絡

本日いただいたご意見は、議事録として後日お送りいたしますので、内容をご確認いただければと思います。本日はありがとうございました。